NIE実践報告

1．タイトル：☆プロカメラマンに学ぶ-ベストショットの発表とアドバイス-

2．学校名

福井県立ろう学校

3．実践者名（代表者名）

福田美喜子

4．学年

中学部1~　3年・高等部１~　3年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間　14人

6．単元（本時の学習課題）名

「マイベストショットを発表しよう！」

7．目標(狙い)

遠足で撮影した自分の写真について発表し、被写体の選び方や構図、撮影角度などのアドバイスをもらい、カメラマンの視点を学ぶ。プロカメラマンと話す経験を通して新聞には送り手がいるという認識を深める。

8．評価の視点

意欲的に写真撮影し、ベストショットの撮影意図や気に入った点を筋道立てて発表することができたか。またプロカメラマンからの講評を聞き､撮影のこつ・プロの視点等に気づき､感想やお礼状を書くことができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数

（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「遠足で秋を撮影しよう」6時間　「ベストショットを選ぼう（全写真の発表→選択→題と説明文）」2時間
「ゲストティーチャー授業（発表・講評）」1時間　「お礼状を書こう」1時間　※文化祭展示（観覧者投票）

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①遠足で1人1台使い捨てカメラを持ち、「秋らしい」と思われる写真を積極的に撮影する。（6時間）
②撮影した全部の写真をレセプターで拡大投影しながら発表し、友達と意見交換する。（1時間）
③写真の中から特に気に入った写真（ベストショット）を1~　3枚選び、タイトルをつけて、撮影意図や選んだ理由などを書く。発表の練習をする。（1時間）
④「マイ　ベストショットを発表しよう！」プロジェクターで拡大投影しながらベストショットの撮影意図や選択理由を発表し、プロのカメラマンの講評を聞く。プロが撮影し新聞に載った写真を紹介してもらったり、望遠レンズ付きのカメラで連写撮影の体験をさせてもらう。（1時間 本時）
⑤感想およびお礼状を書く。（1時間）　※文化祭で展示し、観覧者投票による写真コンテストを実施した。

（留意点）
・自分の写真に合うタイトルや説明文を書いたり、筋道立てて発表したりできるようにアドバイスする。
・プロカメラマンの話から感じたことや学んだことを深く考えさせ、うまく文章化できるように助言する。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

写真についてのコメントを堂々と発表できていた。プロの方が一人一人に丁寧に講評して下さったのでとても嬉しそうだった。望遠カメラの連写体験やプロの「瞬間を捉えた写真」に大変感動し､礼状に書いていた。

12．成果と課題

生徒達にとって自分の撮影した写真をプロの方に講評してもらえる機会などは滅多になく、今回は貴重な経験となった。「写真を褒めてもらえて嬉しかった。」「連写撮影のシャッター音に驚いた。遠くの物がすぐ近くに見えて迫力があった。」「野球のボールと打者を１ショットに入れるための苦労がわかった。」「また自分で写真が撮りたい。」等の感想が見られ、この授業は写真や報道カメラマンに強く関心を持つきっかけとなった。またこれ以降、同一記事の複数紙読み比べの際、掲載写真の意図や効果を考えるようにもなり、新聞の送り手の存在を意識することにつながった。今後もさらに新聞を身近に捉えられる活動を取り入れていきた